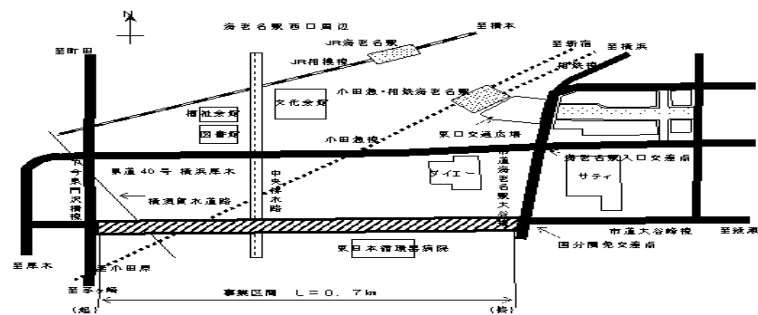


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：新屋 千樹

事業名 かわらくちかつせせん 河原口勝瀬線	事業区分 街路	事業主体 海老名市
起終点 自：えびなしかわらくち 海老名市河原口 至：えびなしかつせ 海老名市勝瀬		延長 0.7 km
事業概要 本路線は、県道40号（横浜厚木）から東西方向に延長約1.25kmの幹線道路であり、市道大谷峰線に接続し、厚木市から中心市街地をとり綾瀬市へ結ぶ重要路線である。 また、さがみ縦貫道路海老名北ICへの東西方向のアクセスを強化する路線である。		
H 9年度事業化	H 8年度都市計画決定	H 10年度用地着手
全体事業費 約25億円		事業進捗率 73.7%
計画交通量 13,000台/日		供用済延長 0 km
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 3.6 (残事業) -	総費用 (残事業)/(事業全体) - / 29億円 (事業費: - / 29億円) (維持管理費: - / 0.08億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) - / 103億円 (走行時間短縮便益: - / 61億円) (走行費用減少便益: - / 43億円) (交通事故減少便益: - / 1.2億円)
基準年 平成18年		
感度分析の結果 交通量、事業費等の変動を想定しても、費用便益分析の結果に問題なし。		
事業の効果等 ・地域分断の解消及び中心市街地の交通渋滞解消による発展。(交差する小田急線の立体事業と共に整備)		
関係する地方公共団体等の意見 本路線の整備により下今泉門沢橋線と接続し、周辺の渋滞解消、交通利便性の向上を図る。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 海老名駅周辺への商業施設の立地により、中心市街地の交通量が増え、需要も高まっている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成17年度末までに用地取得進捗率は83%、事業進捗率は73%となっており、平成17年度より一部工事に着手している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後、残りの用地取得及び工事を進め、平成19年度に完成の予定。		
施設の構造や工法の変更等 特になし。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 現況は鉄道による地域分断と踏切による慢性的な交通渋滞を引き起こしている。接続する(都)下今泉門沢橋線及び交差する小田急線の限度額立体事業と共に進める事が、地域分断の解消、中心市街地の交通渋滞解消とさがみ縦貫道路海老名北ICへのアクセスとして事業継続する必要があると判断した。		
事業概要図		



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。